

(別紙)

## 障害福祉分野のICT導入モデル事業 事業報告書

自治体名

愛知県

### 【基本情報】

フリガナ	シャカイフクシクワシヤイセイヨウカイ
法人名	社会福祉法人 あいち清光会
フリガナ	キンカ
事業所名	銀河
提供サービス（複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択）	
生活介護	
職員数（常勤換算数）	【「全職員の月間勤務時間数」/「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出（産休・育休、休職は除く）】
21.7人	
ICT機器等導入完了日	令和 6年 4月11日

※行・列の追加は行わないでください。

### (1) モデル事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況

業務内容	ICT機器等の導入・活用状況
支援記録の作成	②一部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
職員間の情報伝達・情報共有	②一部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
請求業務	②一部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
勤怠管理	①ICT機器等を導入していない（紙中心で事務作業を行っている）
シフト表作成	①ICT機器等を導入していない（紙中心で事務作業を行っている）
給与業務	②一部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）

※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。

- ①ICT機器等を導入していない（紙のみ対応）
- ②一部、ICT機器等を導入・活用している（紙とICT機器等に対応）
- ③ICT機器等を導入・活用している（全てICT機器等に対応）

### (2) モデル事業実施によるICT機器等の導入状況

ICT機器等の種別	導入目的	製品名	台数	備考
①パソコン	①作業の迅速化	HP ProBook450 G10/CT NotebookPC	2	
⑦Wi-Fi・ルーター	②情報の共有化	ELECOM法人向け対応無線アクセスポイント	2	
⑧その他	④その他	ACアダプター	1	Wi-Fiルーター用 電源アダプター（AC）
⑧その他	④その他	給電HUB	1	Wi-Fiルーター用 給電HUB
③タブレット	②情報の共有化	iPad Air(第5世代) 2.5 6GB	3	

※「ICT機器等の種別」については次の中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。

- ・情報端末等・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム
- ・ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト
- ・通信環境機器・・・⑦Wi-Fi・ルーター

なお、「⑧その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。

※「導入目的」については、次の中から特に該当する番号を選択してください。

- ①作業の迅速化（支援記録の作成など）
- ②情報の共有化（職員間の情報伝達・情報共有など）
- ③業務の統合化（請求業務、勤怠管理、シフト表作成、給与業務など）
- ④その他

なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

(3) モデル事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況

① ICT機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C.1件当たりの平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり業務時間 (D/業務従事者数)	備考
		A.ひと月当たり発生件数	B.年間発生件数 (A×12)				
①支援記録の作成	13人	22,880件	274,560件	40分	183,040時間	14,080時間	
②職員間の情報伝達・情報共有	34人	22件	264件	60分	264時間	8時間	
			0件		0時間		
			0件		0時間		
			0件		0時間		
		22,902件	274,824件	100分	183,304時間	14,088時間	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。  
なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

①利用者1日利用人数40人×利用者1人1日/2回記録作成×1カ月営業日22日×記録作成職員1日/13人=22,880件      ②一カ月生活介護営業日数 22日間

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

①生活介護記録の打ち込み時間 PC 35分+パソコン設置場所への移動時間5分=40分      ②銀河各作業室へ当日の朝礼報告資料閲覧板の閲覧時間 60分

② ICT機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C.1件当たりの平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり業務時間 (D/業務従事者数)	備考
		A.ひと月当たり発生件数	B.年間発生件数 (A×12)				
①支援記録の作成	13人	22,880件	274,560件	35分	160,160時間	12,320時間	
②職員間の情報伝達・情報共有	34人	22件	264件	15分	66時間	2時間	
			0件		0時間		
			0件		0時間		
			0件		0時間		
		22,902件	274,824件	50分	160,226時間	12,322時間	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。  
なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

①利用者1日利用人数40人×利用者1人1日/2回記録作成×1カ月営業日22日×記録作成職員1日/13人=22,880件      ②一カ月生活介護営業日数 22日間

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

①生活介護記録の打ち込み時間 PC 35分+パソコン設置場所への移動時間0分=35分      ②銀河各作業室へ当日の朝礼報告資料閲覧板の閲覧時間 15分

年間業務時間数削減率 (%)

12.6%

※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
生活記録	3ページ	36ページ
		0ページ
		0ページ
	3ページ	36ページ

④ ICT機器等導入後の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
生活記録	3ページ	36ページ
		0ページ
		0ページ
	3ページ	36ページ

年間作成文書量削減率 (%)

0.0%

(4) ICT機器等の導入効果

① 事業所におけるICT機器等導入の推進方法

PCが増えたことにより今までは母体である事務所まで移動し限られたPCを職員が交代で使用していたが銀河事務所にP Cを設置することで、母体事務所までの移動時間の軽減、及びP Cが増えたことによりP Cの使用の順番待ち時間が軽減。Wi-Fi、ルーターの設置により朝礼報告の閲覧物がタブレットにて各所にて移動せずに確認できるようになり（5か所への閲覧時間及び職員が各所にもっていく移動時間）大幅な時間削減が見込まれる。また職員会議など全職員 約35人分作成していた（1回職員会議資料一人/15ページ）がPC、タブレットでの閲覧のより会議資料はほぼ無になりペーパーレスが期待できる。（施設内研修などにも活用）

※事業所において、ICT機器等の導入をどのように進めたか（事業所内の推進体制、外部への相談など）を記載してください。

また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦労した点がありましたら、その点も記載してください。

②ICT機器等の導入による業務の変化（複数選択可）

情報端末導入による効果
<input checked="" type="checkbox"/> 1 支援記録の作成に要する時間が減った。
<input type="checkbox"/> 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
<input type="checkbox"/> 3 インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減した。
<input type="checkbox"/> 4 利用者の情報を一元管理できるようになった。
<input checked="" type="checkbox"/> 5 その他の効果があった。
<input type="checkbox"/> 6 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

PC待ち時間、移動時間の短縮でその時間、利用者支援時間にあてられた。ペーパーレスにより経費節約に繋げられる。

ソフトウェア導入による効果
<input type="checkbox"/> 1 支援記録の作成に要する時間が減った。
<input type="checkbox"/> 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
<input type="checkbox"/> 3 利用者の情報を一元管理できるようになった。
<input checked="" type="checkbox"/> 4 記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行えるようになった。
<input type="checkbox"/> 5 勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通貫で行えるようになった。
<input type="checkbox"/> 6 その他の効果があった。
<input type="checkbox"/> 7 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

③ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の状況

PCが増えたことでの（銀河事務所への設置）母体事務所までの移動時間の軽減、及びP Cが増えたことによりP Cの使用の順番待ち時間が軽減した。Wi-Fi、ルーターの設置により朝礼報告の閲覧物がタブレットにて各所にて移動せずに確認できるようになり（5か所への閲覧時間及び職員が各所にもっていく移動時間）わざわざ各所に運ぶ必要がなくなり大幅な時間削減となった。また会議資料、施設内研修時のペーパーレスについては（PC、タブレットで皆で閲覧している）かなりの紙の削減が出来ている。（資料内容についてはデーター化している）

※ICT機器等の導入により、どのような業務改善ができ、どのような業務効率化が図られたのか、また、職員の業務負担軽減にどのような効果があったのか、具体的に記載してください。

④ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の活用方法

移動時間や会議使用の作成（職員人数分の資料作り）などがなくなった。その分、少ない人数で処遇現場を支援している中、現場を離れる時間が減り（報告閲覧時間、移動時間の削減、会議資料等の作成時間の現象）安心して処遇を行うことが出来るようになった。

※ICT機器等の導入により、業務効率化で確保できた職員の業務時間について、他のどのような業務に活用できたかなど、具体的に記載してください。

(5) ICT機器等の導入による費用面での効果

ICT機器等の導入による費用の縮減  有

※ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下についても回答をお願いします。

縮減額（円）	3,000円
職員の賃上げ等への充当	無
その他職場環境の改善への充当（※1）	有
サービスの質の向上に係る取組への充当（※2）	有

（※1）「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載してください。

事業所の掲示物に使用する物品等を導入前は使用するたびに購入していたが、今回の導入によりペーパーレスとなったことで、月/3、000円（主に資料等の紙代）の削減ができ、物品を事前に購入する費用に充当できた。それにより、職員への周知事項や利用者へのお知らせなどの掲示場所の増加や迅速に掲示できるなど、職場環境の改善、サービスの質の向上につながった。

（※2）「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。

事業所の掲示物に使用する物品等を導入前は使用するたびに購入していたが、今回の導入によりペーパーレスとなったことで、月/3、000円（主に資料等の紙代）の削減ができ、物品を事前に購入する費用に充当できた。それにより、職員への周知事項や利用者へのお知らせなどの掲示場所の増加や迅速に掲示できるなど、職場環境の改善、サービスの質の向上につながった。